

## 報告1 山北地域公共交通再編案について

### 1 山北地域公共交通再編案策定経緯

#### (1) 山北地域公共交通あり方検討会設置

山北地域における持続可能な公共交通のあり方を検討するため、様々な立場の住民などからなる検討会を設置。

#### (2) 目指す山北地域交通の基本的な考え方

免許返納者の増加や高齢化の進展を考慮するとともに、限りある交通資源を有効に組み合わせて予約応答型（デマンド型）交通の導入を進めることとした。

### 2 山北地域公共交通再編案

#### (1) 再編案の全体像

#### 1. 定路線送迎バスの連携による【地域内交通】の再構築

1-1 路線バスの見直し  
(大毎線、雷線、鼠ヶ関線)

- \* バス停の見直し
- \* 減便による運行効率性の向上
- \* まちなか区間の強化

令和5年10月開始

1-2 デマンドバスへの移行  
(東エリア、南エリア)

- \* 受付センターの設置
- \* デマンドバス運行
- \* 小型車両の導入

令和5年10月開始

#### 2. 【サポート交通】としての自家用有償運送の導入

2-1 主に路線バス、デマンドバスの運行しない地域をサポート


令和5年10月開始

#### 3. 運賃体系の見直し

3-1 総合運賃体系の整理

令和5年10月開始

3-2 新しい支払方法の導入

- \* 電子マネー  PayPay

令和5年10月開始

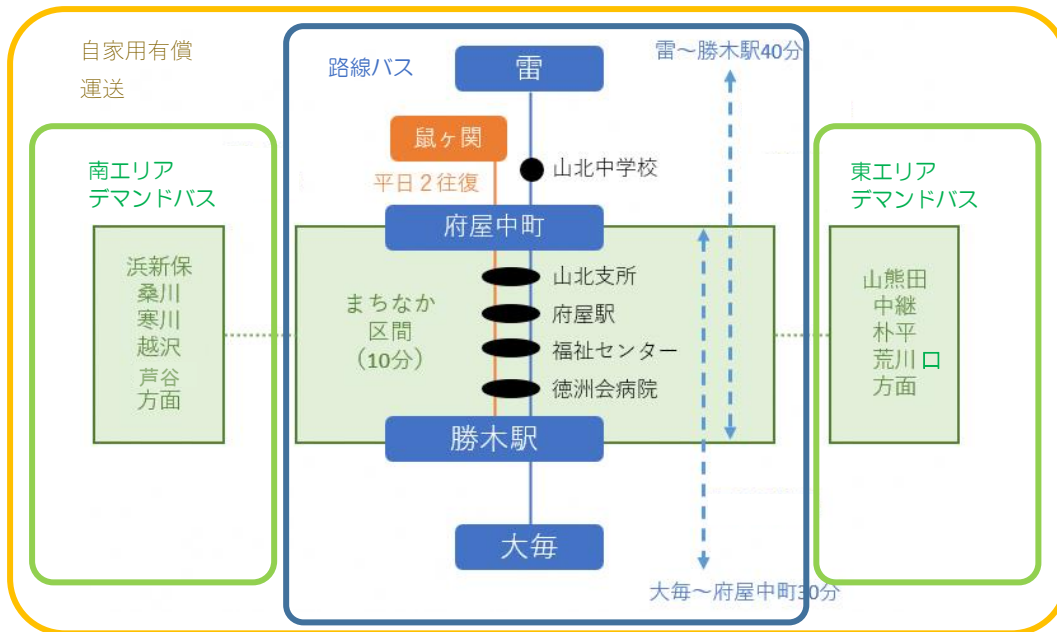
#### 4. 運営体制の構築

4-1 山北地域交通運営協議会設立

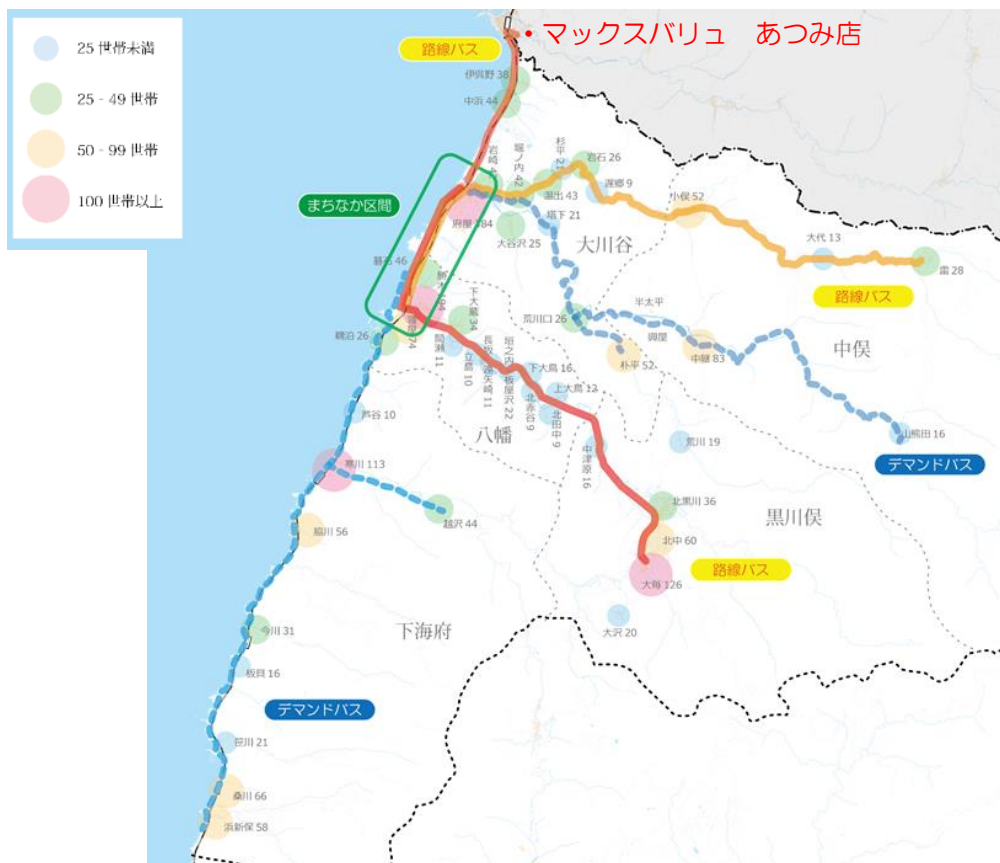
- \* 山北地域の公共協交通を考え構築、運営する地域住民主導の協議会

令和5年4月設立

(2)再編後の運行体系図

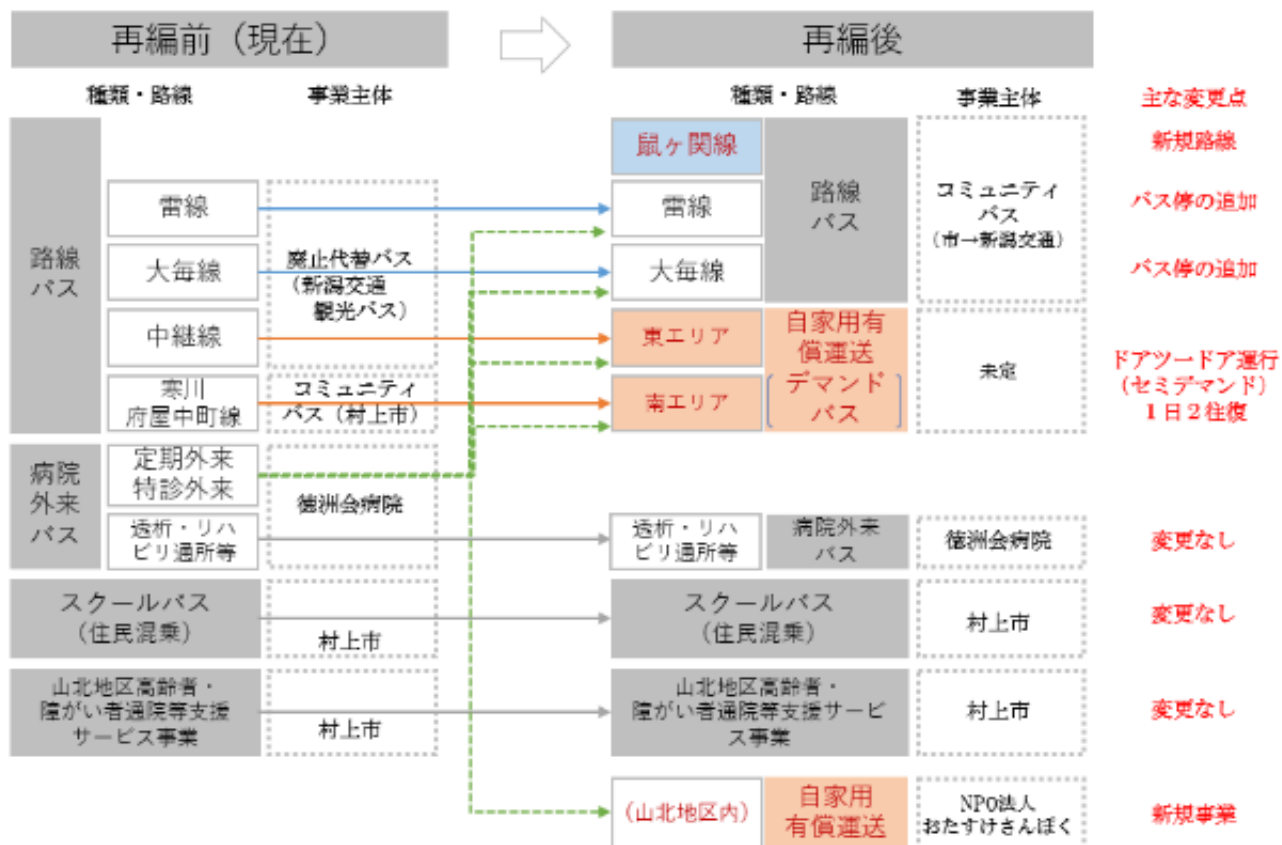


(3)再編後の運行路線図



※サポート交通として全域に自家用有償運送を導入

(4) 再編前後の交通手段



※運行形態の詳細は山北地域交通運営協議会で決定

(5) 運賃設定の考え方

利用可能な交通資源の量や移動手段毎の利用のしやすさなどのバランスを考慮し設定する。

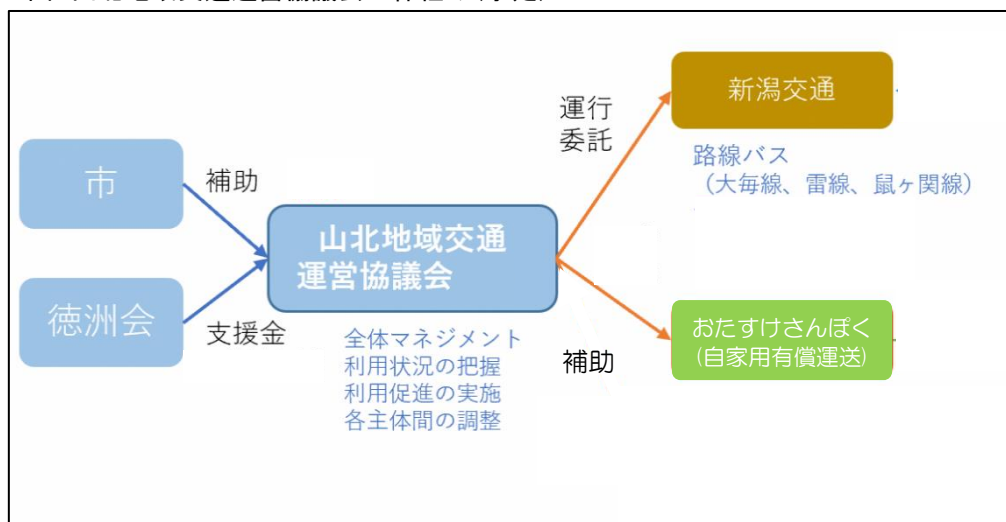
利用のしやすさ	良くない			良い
運賃	無料	安い	中間	高い
移動手段	スクールバス	路線バス	デマンドバス	自家用有償運送

※運賃は山北地域交通運営協議会で決定

## (6) 山北地域交通運営協議会の設置

山北地域内のあらゆる交通手段と人材を活用して持続可能な公共交通網を構築するとともに、移動の活性化に関する事業を行い、住民生活の向上を図ること目的として設置するもの。

図 山北地域交通運営協議会の枠組み(予定)



## 2 今後のスケジュール

年月	予定
R 5. 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村上市地域公共交通活性化協議会に山北地域公共交通再編案を報告</li> <li>・山北地域交通運営協議会設立準備</li> </ul>
4月	山北地域交通運営協議会設立
4月～8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民説明会</li> <li>・国、県、鶴岡市等関係機関との協議・調整</li> </ul>
8月中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山北地域内公共交通運行計画確定</li> <li>・村上市地域公共交通活性化協議会で運行計画について承認を得る</li> <li>・国、県への申請</li> </ul>
10月	実証運行開始
R 6. 4	本格運行開始